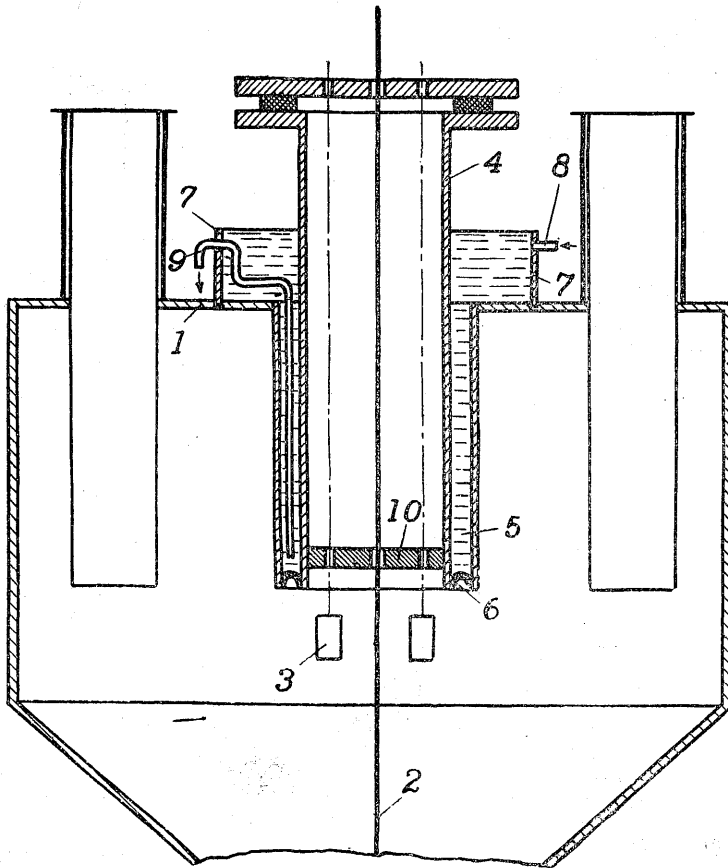


金屬蒸氣整流器の嶄新な陽極

茲に述べやうとするのは金屬蒸氣整流器の完全な冷却作用を得、且つ同時に陽極の導入に都合のよい極めて簡単な手段を提供しやうとするのであつて、整流器の作働室内に圓壩形二重壁冷却槽を挿嵌し、且つ該冷却槽の内壁を個々の導入電極に對する支持物として利用するのである。此



第一圖

の構造に従へば整流器の極めて完全な冷却作用を得ると共に冷却槽を電極支持物に利用して整流器の形體を著しく小さく出来るので、整流器の完全なる働作を得、且安價に製作し得る利益がある。

完全な冷却作用を營ませる爲め、冷却槽は熱の良導體、従つて金屬で之れを製造する必要がある。

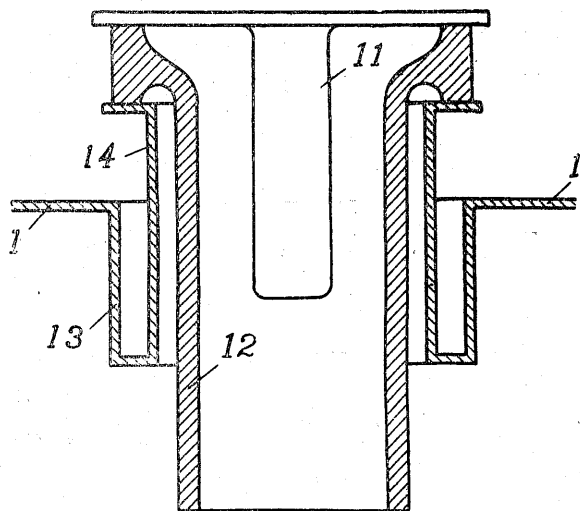
此の構造による支持物は補助陽極に對し特に簡単に實施することが出来る。補助電極は普通金屬製の導入承金で包圍され

て居るから此の場合には導入承金は冷却槽内壁と合併することが出来る。冷却槽の下端には勵發陽極或は點火極に對する導片を設ける方がよい。そうすれば通搬の際に之等の破損を防ぐことが出来る。之れと反對に整流器の主陽極は通常導入碍管で包圍されてある。此の碍管は金屬でないから、冷却槽の内壁と合併することは不可能である。故に此の碍管は冷却槽の内壁上に置きそ

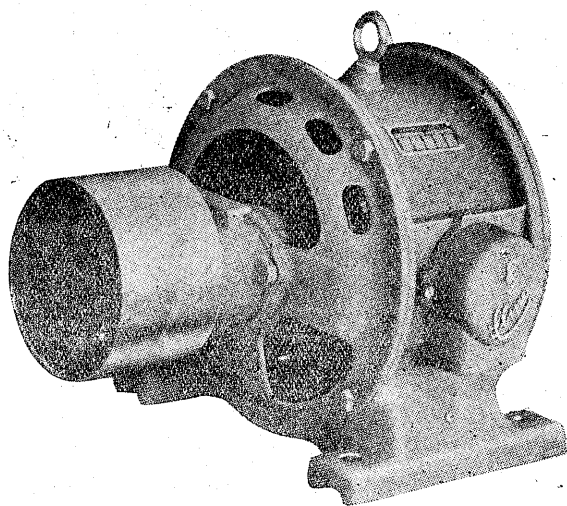
添付圖面は此の構造の一例である。第一圖は冷却槽を有する水銀蒸氣整流器を示すもので(1)は整流器容器の蓋(2)は點火極(3)は勵發陽極であつて(10)は之等兩極に對する導片で

ある。冷却槽は二個の同心管（４）と（５）及び之等を連結する環（６）から成立つて居り整流器の中央に於て、蓋の内部に嵌込んである。圖に於ては蓋の冷却を良くするために上記冷却槽の周圍に大きな直径の管（７）を取付け、其の内部にも亦冷却液を入れたのである。冷却液は管（８）から入り、管（９）によりて排出される。管（９）は液の最も高い温度に熱せられた部分を直接外部に導き去る様冷却槽の底部に迄、達せしめる方が宜しい。（４）は點火極（２）及び勵發陽極（３）に對する支持物となつて居る。

第二圖は冷却槽（１３）上に主陽極（１１）を設置した例を示すものであつて冷却槽の内壁（１４）は導入碍管（１２）を支持し、陽極（１１）は其の上を取付けられてある。（特許課）



第 二 圖



機械的起動器附 7.5 馬力籠形三相誘導電動機



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。